

市民意向調査「今後の居住に関する意向調査」 集計結果

■調査概要

＜調査実施主体＞ 陸前高田市（復興対策局）

＜調査の目的＞ 被災世帯の今後の居住意向、特に高台移転や公営住宅への入居意向を把握し、復興計画検討にあたっての基礎資料とする。

＜調査の対象＞ 被災された全世帯（3,842世帯）の世帯主

＜調査方法＞ <応急仮設住宅入居者> 応急仮設住宅の自治会長を通じて直接配布・回収
<上記以外> 郵送による配布・回収（または市役所内設置の回収箱へ投函）

＜調査期間＞ 8月22日（月）～9月2日（金）
※ただし、期限以降に回答があったものも適宜集計に追加

■回収状況

	[A] 配布数			[D] 回収数	
		[B] うち不達 (宛先不明)数	[C] 実質配布数 (A-B)		[E] 回収率 (D/C)
応急仮設住宅入居者	2,184	0	2,184	1,822	83.4%
上記以外	1,658	147	1,511	892	59.0%
合計	3,842	147	3,695	2,714	73.5%

■集計結果(全体)

1) お住まい再建についてのお考えは

項目	割合
1:自力で新築、改修・修繕	20.2%
2:可能であれば新築、改修・修繕	33.5%
3:借家、集合住宅に入居	15.7%
4:親族等の家屋に同居	10.4%
5:未定・わからない	11.5%
6:その他	1.2%
無回答	7.5%

2) 希望する住宅の種類は

項目	割合
1:持ち家(戸建て)	55.5%
6:未定・わからない	13.5%
7:その他	0.8%
無回答	11.9%
5:公営集合住宅	8.7%
4:アパート	3.7%
3:借家(店舗等併用)	2.8%
2:持ち家(店舗等併用)	2.8%

3) 希望の場所は

項目	割合
2:市内の高台等	53.0%
1:被災前と同じ場所	14.3%
4:未定・わからない	17.4%
無回答	10.3%
3:市外	4.0%
5:その他	1.0%

4) お住まいの再建、入居に重要と思うことは

項目	割合
1:津波による浸水がない	56.9%
5:避難道路・避難路が整備される	55.4%
3:高台等に移転できる	43.6%
4:地区の人々とのつながりが保てる	43.6%
6:就労場所に近い、行きやすい	27.9%
2:津波による浸水が床下程度	7.3%
7:その他	5.4%

※主なもの3つまで選択 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%
注)“パーセント”は、有効回答数を分母としたもの